

～ 日本全国 運転免許証のIC化が完了 ～

運輸・運送・交通関連事業者向け IC運転免許証を活用したアルコール測定システム  
最新の導入実績について

飲酒運転ゼロに向け先進的な取り組みをする東海電子株式会社(本社：静岡県富士市 代表：杉本 一成)では、2005年から、トラック・バス・タクシーなどの運輸・運送・交通関連事業者向けに『アルコール検知器(ALC-PRO II)連動型運転免許証確認システム』の販売をしております。

この度、最新の導入実績(2015年)がまとまりましたのでお知らせ致します。

## 1) 免許証リーダー普及の背景

車を運転する者にとって「あたりまえ」の運転免許証。ところが点呼や社内チェックの際に「家に忘れてきた・・・」「見つからない」「うっかり更新するのを忘れてしまった・・・」等のケースがまだまだあります。また、運転手が、免許失効や紛失の事実が会社に発覚してしまうのを恐れるあまり『運転免許証を偽造する』事件も発生しています。このような、運転免許証の不携帯、有効期限切れ、偽造等を防止するため、当社では、2005年から「アルコールチェックと運転免許証チェックを同時に確認できるシステム」を提供してきました。

最近の傾向としましては、2007年から全国の運転免許センター、警察にて導入開始されたICチップが内蔵された運転免許証への更新が進んだことにより「アルコール検知器と連動可能なIC運転免許証リーダー」の市場ニーズが高まってきています。

特に、2011年5月からは、アルコール検知器の使用が点呼で義務づけられたことをきっかけに、運輸・運送・交通関連事業者を中心として、「アルコールチェックとIC運転免許証チェックを同時に」という業務フローが一気に普及しました。

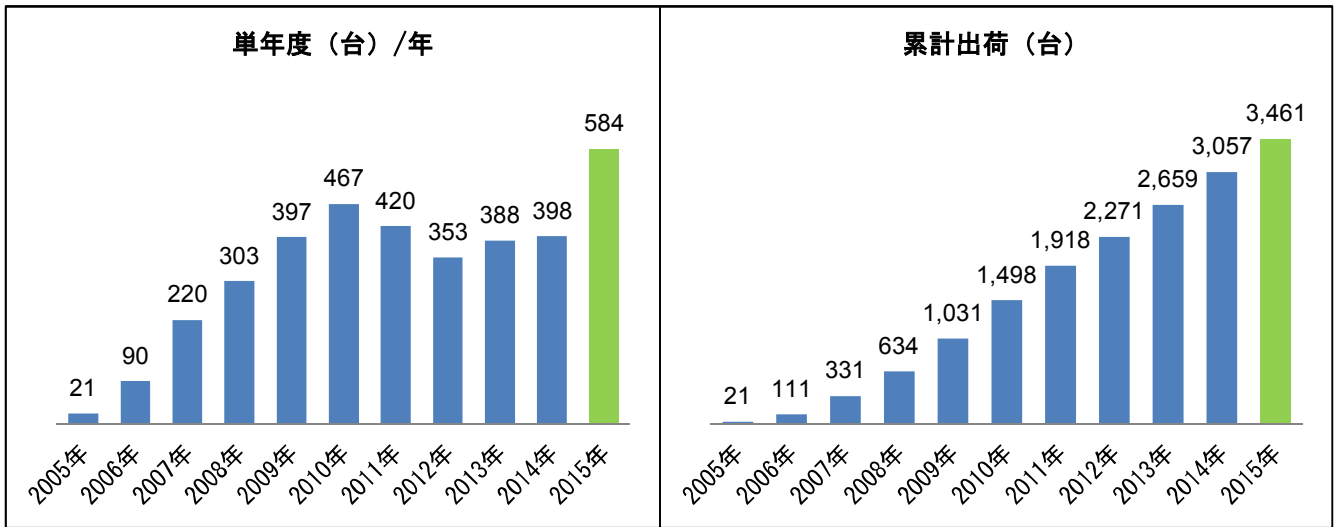
## 【アルコール検知器(ALC-PRO II)連動型運転免許証確認システム】

## アルコール検知器連動型免許証確認システム



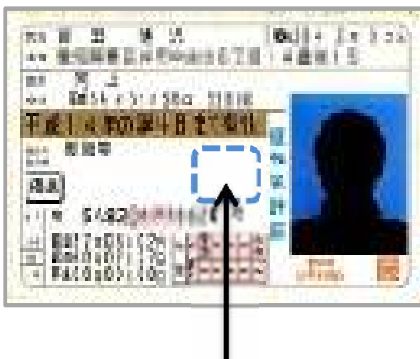
- 免許証を読み込ませ、瞬間的に、期限チェック→アルコールチェックが自動的に開始
- アルコールチェックと同時に、免許証の携帯、期限切れを確認
- 有効期限が切れていなかった証明が、PCに1年分残ります。
- 印刷し、営業所に保管→監査対応しやすい

## 【免許証リーダー 年度ごと & 累計実績】



現在、免許証リーダーの出荷実績は、2005年の発売開始から累計で3,641台となっています。現在稼働しているアルコール測定システムのうち28%は免許証リーダーと連動したシステムとなっています（出荷実績ではなく、スキャナ→IC買い換え後の、運用実数ベース）。

### 【ICチップ内蔵 運転免許証】



（ICチップが内蔵されている部分）

### 【IC運転免許証リーダー】



（デンソーウェーブ社製）

## 2) ICチップ内蔵運転免許証について

現在、日本では8000万人以上が運転免許証を保有しています。そして昨年、2015年をもって、47都道府県すべてで運転免許証のIC化が完了しています。つまり、トラック、バス、タクシーなど、プロドライバーや一般ドライバー、老若男女を問わず、いかなる運転者も路上では今後必ず「IC運転免許証」を持っているようになります。もし、ICチップが入っていない場合、それは、偽物です。

運輸・運送事業に携わる運転者が点呼の際に所持する運転免許証も、当然ICチップ内蔵です。

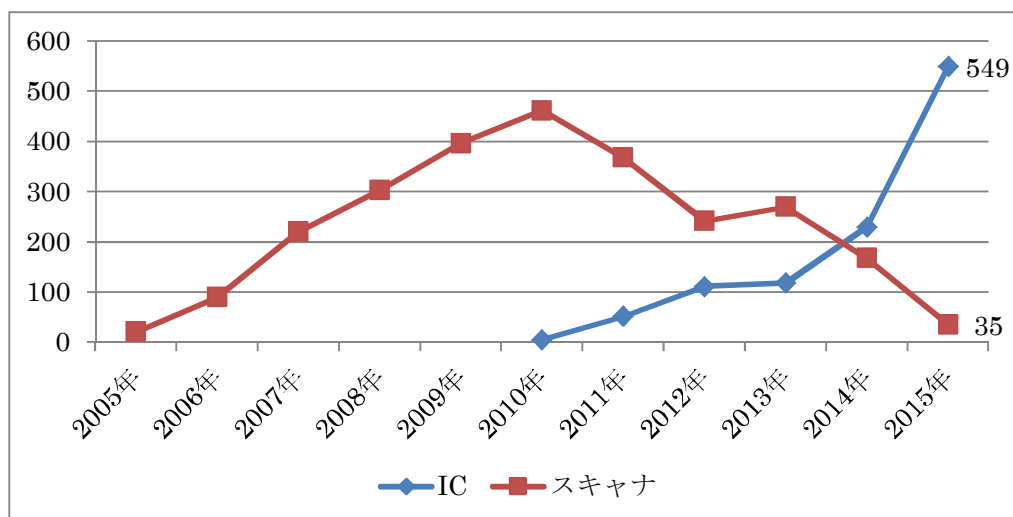
## ICチップ内蔵免許証 8000万枚

| H26年度統計<br>約8200万枚の免許証 |             |      |             | 2016年<br>2月時点 |
|------------------------|-------------|------|-------------|---------------|
| 第二種免許                  | 2,069,711人  | 大型   | 986,518人    | IC免許証         |
|                        |             | 中型   | 809,483人    | IC免許証         |
|                        |             | 普通   | 220,244人    | IC免許証         |
|                        |             | 大型特殊 | 1,715人      | IC免許証         |
|                        |             | けん引  | 519人        | IC免許証         |
| 第一種免許                  | 79,790,301人 | 大型   | 4,387,969人  | IC免許証         |
|                        |             | 中型   | 64,976,901人 | IC免許証         |
|                        |             | 普通   | 8,964,397人  | IC免許証         |
|                        |             | 大型特殊 | 2,459人      | IC免許証         |
|                        |             | 大型二輪 | 32,710人     | IC免許証         |
|                        |             | 普通二輪 | 179,585人    | IC免許証         |
|                        |             | 小型特殊 | 48,241人     | IC免許証         |
|                        |             | 原付   | 1,465,482人  | IC免許証         |

出典:警察庁交通局運転免許課 H26年度 運転免許統計 より

現在、ICチップの入っていない免許証は存在せず、偽造免許証を見抜ける確率が限りなく高くなってきていると言えます。入社時の確認にICチップにより身分証明してもらう事は当然の時代になってきたとも言えましょう（自分で設定した2種類のコードで自らの免許証の真偽を表明できます）。

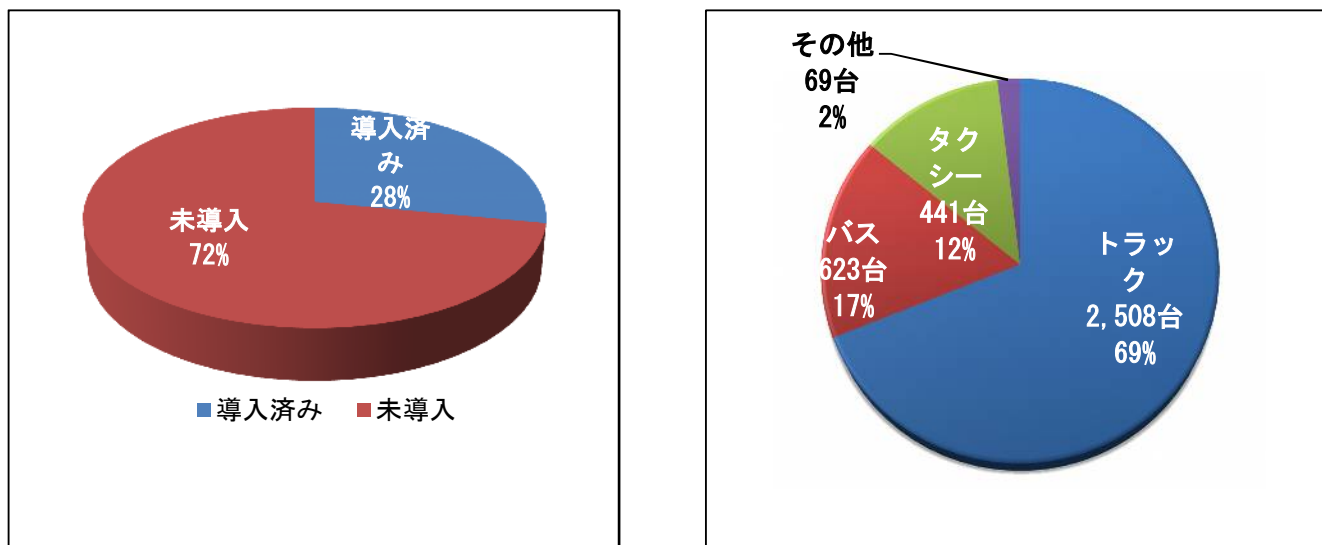
### 【スキャナ式免許証リーダーとIC免許証リーダーの実績比較】



なお、スキャナ式免許証リーダーは、2014年、Windows7へのドライバ未対応から、新規の販売は終了しています（サポート終了は2020年1月です）。現在は、IC免許証のみの販売となっています。

### 3) 運輸事業者での普及状況

#### 【免許証リーダー導入率（スキャナ式・IC方式含む）と、業種ごと実績】



(スキャナ式から IC への買い換えが進んでおり、累計出荷台数と、現在の使用中の数字には差があります)

免許証リーダーを購入した事業者の比率は、トラック、バス、タクシーの順番です。傾向としては、運転者が多い企業が免許更新情報の管理の効率化観点で導入していましたが、最近では、事業規模にかかわらず、電子データ・ファイル管理上の簡便さの観点からも導入が進んでいます。

運行管理者には、点呼や配車のみならず、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダー等の様々な機器の管理も増えており、運行管理者の業務負担を軽減することも、安全管理上の重要なポイントです。

「アルコール検知器連動型 IC 運転免許証確認システム」は、今や、入社時の身分証明をしっかりと確認する目的のみならず、毎日、運転者と運行管理者がストレスなくスムーズな点呼を実施するための「点呼インフラ」と言ってもいいものです。

効率化できるところは積極的に効率化を進め（機器に任せ）、本来の点呼の目的である安全に関する指示事項の伝達、安全指導および監督、健康状態を確認するといった、「ひとでしか判断できない」部分に貴重な時間を充てていただくことができます。是非、本システムをご活用ください。

#### <製品概要>

##### ●価格概要（詳細はお問い合わせください）

①IC 免許証スターターパック（IC 免許証リーダーと ALC-PRO II アルコール測定器：¥380,000 税抜

②IC 免許証リーダーと対応ソフトウェア（ALC-PRO II をもっている場合）：¥208,000 税抜

●対応 PC Windows7/32 ビットのみ、セットアップ費用、保守料別途発生。

●拡張性：IT 点呼にも対応できます。

★★本件に関する問い合わせ先、資料請求先★★

東海電子株式会社 国内営業部 東京都立川市曙町 2-34-13

オリンピック第3ビル 203号室 TEL:042-526-0905/FAX:042-526-0906

E-mail: info@tokai-denshi.co.jp URL: www.tokai-denshi.co.jp